

令和元年 7月 23日

地区連盟 理事  
事務局長 様

栃木県空手道連盟  
会長 渡辺 眞幸

第11回 栃木県空手道少年秋季大会について  
第14回 全国中学生空手道選抜大会県予選

栃木県空手道連盟の運営につきましては、日頃より特段のご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、標記の事につきまして別紙実施要項の通り、第11回栃木県空手道少年秋季大会を開催致しますので、所定の出場申込書を取りまとめの上 8月24日(土)までに出場費の振り込みと合わせて申し込みされますようご案内いたします。

なお、申込締切期日以降はいかなる理由があっても受付致しませんので申し添えます。  
また、個人による申請は一切受け付けませんので周知願います。  
(よって、当紙は傘下団体への配布はしないよう願います。)

1. 日 時 : 令和 元年 9月 23日(日) 午前9:00 ~ 午後4:00
2. 会 場 : 大田原市県北体育館メインアリーナ
3. 申込先 : 必ず各地区連盟にてとりまとめの上、下記へ願います。

※ 入力ミスなどの間違いを防ぐため申し込みは極力メールで願います。

<秋季大会・予選会申請書送付先>

栃木県空手道連盟 少年部長  
〒327-0843  
佐野市堀米町3240-2  
高橋 一正 宛  
TEL 080-4113-4154  
E-mail k.takahashi@seiyukaikarate.com

<出場費振込み先>

足利銀行 佐野支店  
店番号 130  
普通預金 5092792  
栃木県空手道連盟少年部 部長 高橋 一正

\* 貴連盟傘下団体・会員に必ず通知されるようお願いいたします。

# 第 11 回 栃木県空手道少年秋季大会

兼

## 第 14 回 全国中学生空手道選抜大会県予選

- 1 日 時 : 令和元年年 9 月 23 日 (日) 午前 9 : 00 ~ 午後 4 : 00
- 2 会 場 : 大田原市県北体育館 メインアリーナ
- 3 主 催 : 栃木県空手道連盟
- 4 後 援 : 栃木県教育委員会・栃木県体育協会・下野新聞社・栃木テレビ
- 5 協 賛 : (公財) 全日本空手道連盟
- 6 競 技 : 団体戦形 団体戦組手 (秋季大会)  
中学生 1・2 年生 男 女 個人形・組手 (選抜予選)
- 7 種 目 : (1) 小学 1・2 年生の部 (2) 小学 3・4 年生の部  
(3) 小学 5・6 年生の部 (4) 中学生の部  
各クラスの出場チームが 2 チーム以上の場合 A・B・・・とする。

※出場種目の重複は認めない。

(注) 中学生の出場は進行上、選抜予選か団体競技のいずれかを選び申し込んで下さい。

- 8 競技方法 :
  - (1) 団体戦形
    - ア) 指定された学年 3 名で 1 チームとし、試合においては 1 名ずつ対戦する。
    - イ) 演武は、2 名同時に演武する事とする。中堅で試合が決しても 1・2 回戦は 3 名が演武する。(2 名での参加も認める。) 但し、3 回戦以降については勝敗が決まり次第終了とする。
    - ウ) 団体戦のトーナメント方式とする。
    - エ) 小学生は、準決勝まではヘイアン・ピンアン・ゲキサイとし 準決勝からは、全日本空手道連盟 第一・二指定形を使っても良い。(同一形で決勝まで可) 中学生は、準決勝までを第一・二指定形とし 準決勝からは自由形も可とする。
    - オ) 審判員 5 名によるフラッグ方式とする。
  - (2) 団体戦組手
    - ア) 指定された学年 3 名で 1 チームとする。 先鋒・中堅・大将戦とし 2 勝したチームが勝者となる。
    - イ) 団体戦トーナメント方式とする。
    - ウ) 時間は、1 分 30 秒フルタイムとし 6 ポイント先取で決する。中堅で試合が決しても、1・2 回戦は 3 名が競技する。(2 名での参加も認める。) 但し、3 回戦以降は勝敗が決まり次第終了とする。
    - エ) 棄権及び反則負の場合は 6-0 とする。

- (3) 勝数と負数が同率の場合は、得失点数により決める。それでも同点の場合は代表決定戦を行い勝敗を決する。
- (4) 組手競技については、全日本空手道連盟（JKF）競技規定・審判規定による
- (5) 保護具については、JKF 指定のメンホー・ボディープロテクター・赤青の拳サポーター・インステップ・シンガード・男子はセーフティーカップを着用すること。

9 出場費 : 1 チーム 6,500 円とする。

10 出場資格 :

- ア) 栃木県空手道連盟及び全日本空手道連盟の会員登録された選手
- イ) 競技が可能な健康体であること
- ウ) スポーツ保険加入の事

11 その他 :

- ア) 各クラス出場チームが 2 チーム以上の場合 A・B・・・とする。  
また 1 チーム 1 名の補欠を付ける事ができる。
- イ) 監督は、各道場 2 名までとし ID カードを発行し それ以上は会場に入場できない。
- ウ) 道着については、清潔なものとし道着のマークを認めるものとする。
- エ) 定められた競技方法によって適正に実施された競技中の事故及び競技中以外の事故については、主催者はその責任を負わない。

12 表彰 : 各種目の上位 3 チームに賞状、賞品、8 チームまでに賞状を授与する。  
但し、出場チームが 16 チームに未満の場合には変更があります。